ID010 ②

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

⚠ このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

■ご使用にあたって

この時計は**「機械式時計」**です。
☆手でぜんまいを巻き上げることができますので、ご使用前には必ずぜんまいを十分に巻き上げてからお使いください。

手巻き時計の場合：
毎日ぜんまいを巻いてください。
1日分動かすには、りゅうず [0] 位置で 15 ～ 20 回以上、回転させて巻き上げてください。
（りゅうず 1 回転は 360° 回転することを意味します）

自動巻き時計の場合：
腕を動かすことでぜんまいが巻き上がります。
動かす量が少ない場合は、りゅうずで巻き上げてください。

【機種の見方】
お買い上げの時計の機種 No. は、図のように時計の裏ぶたに刻印されております。
お確かめの上、時刻やカレンダーを合わせてください。

（例）
機種 No.6630 → **6630-XXX**

■製品仕様

携帯精度……平均日差－ 20 秒～＋ 40 秒
（ご使用条件によっては、携帯精度範囲を超える場合があります。）

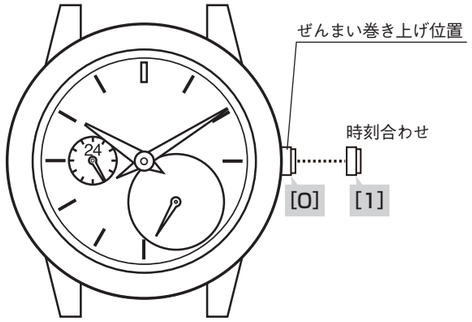
付加機能……日付つきの時計：早修正機能
曜日つきの時計：2ヵ国表示

＊仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■時刻・カレンダーの合わせ方

＊りゅうずがねじロックりゅうずの場合は、ねじをゆるめてから操作をし、合わせ終わりましたらりゅうずを [0] 位置にもどした後、りゅうずを押しながら右に回しきちんとしめてください。
＊モデルによっては、24 時間針がついているものや、日付・曜日がついていないものがあります。

機種 No.82 ※※



※ 24 時間針のないモデルもあります。

時刻の合わせ方

1. りゅうずを引いて [1] 位置にして、りゅうずをまわして針を合わせます。

※ 24 時間針つきの場合は、時→分針と連動して動きます。
※カレンダーつきの場合はりゅうず位置が [2] になります。午前と午後をまちがえないようにセットしてください。

2. りゅうずを [0] 位置に押し込んで、時刻合わせを終了します。

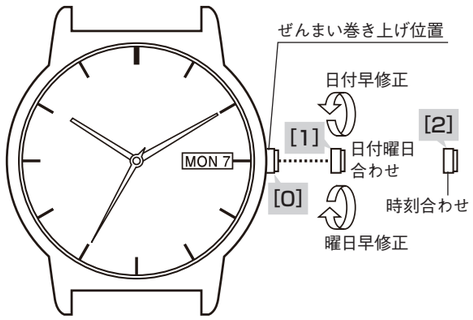
カレンダーの合わせ方

1. りゅうずを引いて [1] 位置にします。

2. りゅうずを左回転させながら日付を合わせます。

3. りゅうずを右回転させながら曜日を合わせます。日付のみの時計では、右回転させると空まわりします。

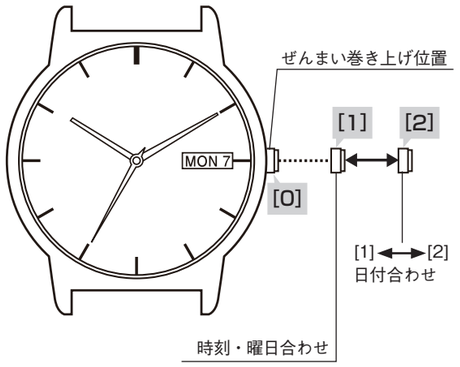
4. [0] 位置にもどすとカレンダー合わせが終了します。



注意 次の時間帯を針が示しているときのカレンダー早修正は、お避けください。
・日付つきの時計……午後9時～午前1時
・日・曜日つきの時計…
午後9時～午前4時30分
この時間帯に早修正すると、翌日になってもカレンダーが切り替わらないことがあります。
いったん、この時間外に針を動かしてから日付、曜日を合わせてください。
日付は 31 日周りです。小の月（月末が 30 日と2月末）から翌月の1日へは、りゅうず操作での切り替えが必要です。

機種 No.66 ※※

カレンダーつきの場合は
曜日→日付→時刻の順に合わせてください。



※カレンダー（日／曜）がないモデルもあります。

曜日の合わせ方

りゅうずを [1] 位置にして、午後9時から午前4時 30 分の往復操作を行って曜日を合わせます。

[曜日　2ヵ国語の切り替え方法]
1. りゅうずを [1] 位置にして回転させ、針を午後9時から午前4時 30 分の往復運動をさせると、英語から日本語（または、日本語から英語）に切り替わります。
2. 曜日を修正した後は、正しい時刻に合わせてからりゅうずを [0] 位置（通常位置）にもどしてください。

日付の合わせ方

りゅうずを [1] から [2] の位置に引くと日付が切り替わります。

・日付は 31 日周りです。小の月(月末が 30 日と2月末)から翌月の1日へは、りゅうず操作での切り替えが必要です。

時刻の合わせ方

1. りゅうずを [1] 位置にして、りゅうずを回して針を合わせます。
・カレンダー（日／曜）つきの場合は、午前と午後をまちがえないようにセットしてください。

2. りゅうずを [0] 位置にもどすと、時計は時刻を刻みはじめます。

注意 午後9時から午前4時 30 分の間で日付修正を行うと、翌日になっても日付が切り替わらないことがあります。
いったん、この時間外に針を動かしてから日付を合わせてください。

■お取り扱いにあたって

⚠ 警告　防水性能について

・日常生活用防水時計（3 気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
・日常生活用強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）などには使用できません。
・日常生活用強化防水時計（10 ／ 20 気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。
・りゅうずを引いた状態では、防水性能に関係なく浸水してしまうのでご注意ください。
・時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、図を参照して正しくご使用ください。
（bar は約 1 気圧に相当します）
＊ WATER RESIST(ANT)△△ bar は W.R. △△ bar と表示している場合があります。

名称	表示 文字板または裏ぶた	仕様	使用例 水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や、一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3 気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5 気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10 気圧防水 20 気圧防水	○	○	○	×	×

⚠ 注意　使用上の注意

・りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
・水分のついたままりゅうずやボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
・日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
・万一、時計内部に水が入ったり、また、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
・時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、ボタンなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意　携帯時の注意

・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
・サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

⚠ 注意　バンドのお取り扱いについて（着脱時の注意）

・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接着はがれ）また、かぶれの原因にもなります。防水時計であっても、水を使う場合は時計を外すことをおすすめします。
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
・ウレタンバンドの場合は、衣類などの染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちする衣類やバッグなどと一緒に使用するときはご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。

⚠ 注意　時計は常に清潔に

・ケースとりゅうずの間にゴミや汚れが付着したまま放置しておくと、りゅうずが引き出しにくくなることがあります。時々はりゅうず通常位置のままでりゅうずを空回りさせてゴミ、汚れを落としてください。
・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。

かぶれの原因は
1. 金属、皮革アレルギー
2. 時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。

・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

■時計のお手入れ方法
・ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
・皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。
・金属バンド／プラスチックバンド／ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
・溶剤類（シンナー、ベンジンなど）の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

■文字板や針が光っている場合
時計の文字板や針には、放射線物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。
この塗料は、太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。
・蓄えた光を放出していくと、少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
・光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、照射時間、蓄光塗料の量などによって発光する時間に誤差が生じます。
・光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合があります。ご注意ください。

■温度について
・－ 10℃～＋ 60℃の温度範囲外では機能が低下したり、停止することがあります。製品仕様範囲外でのご使用はお避けください。

■ショックについて
・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく、機能に異常を生じる場合があります。

■化学薬品・ガス・水銀について
・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。
シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

■保管について
・長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

■保証とアフターサービス

1. 保証について
正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

2. 修理用部品の保有期間について
当社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

3. 修理可能期間について
当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

4. ご転居・ご贈答品の場合
保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

5. 定期点検（有償）について
安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度点検（有償）を行ってください。防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

6. その他お問い合わせについて
保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

メモ欄